

平成29年10月25日(水)
国土交通省 関東地方整備局
千葉港湾事務所

記者発表資料

清掃兼油回収船「べいくりん」による東京湾の漂流物の回収状況(第2報) ～台風21号にともなう東京湾内の漂流物(流木、かや、草等)を回収～

関東地方整備局千葉港湾事務所では、台風21号通過後の10月23日(月)から、清掃兼油回収船「べいくりん」を出動させ、東京湾内で流木等漂流物を回収しています。

翌24日(火)には約11.3m³の漂流物を回収し、両日で約25.2m³を回収しました。(この回収量は、ごみ収集車約6台分に相当します)

24日に回収した漂流物は、流木10本(径5cm～48cm、長さ1.7m～5.0m)、かや、草、タイヤ、ドラム缶等です。

東京湾の航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、本日も朝9時から引き続き漂流物の回収作業を行っています。

※「べいくりん」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、漂流物の回収を行うとともに、油流出事故など災害発生時に油回収等を行う船舶です。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、
千葉県政記者会、千葉市記者クラブ

問い合わせ先

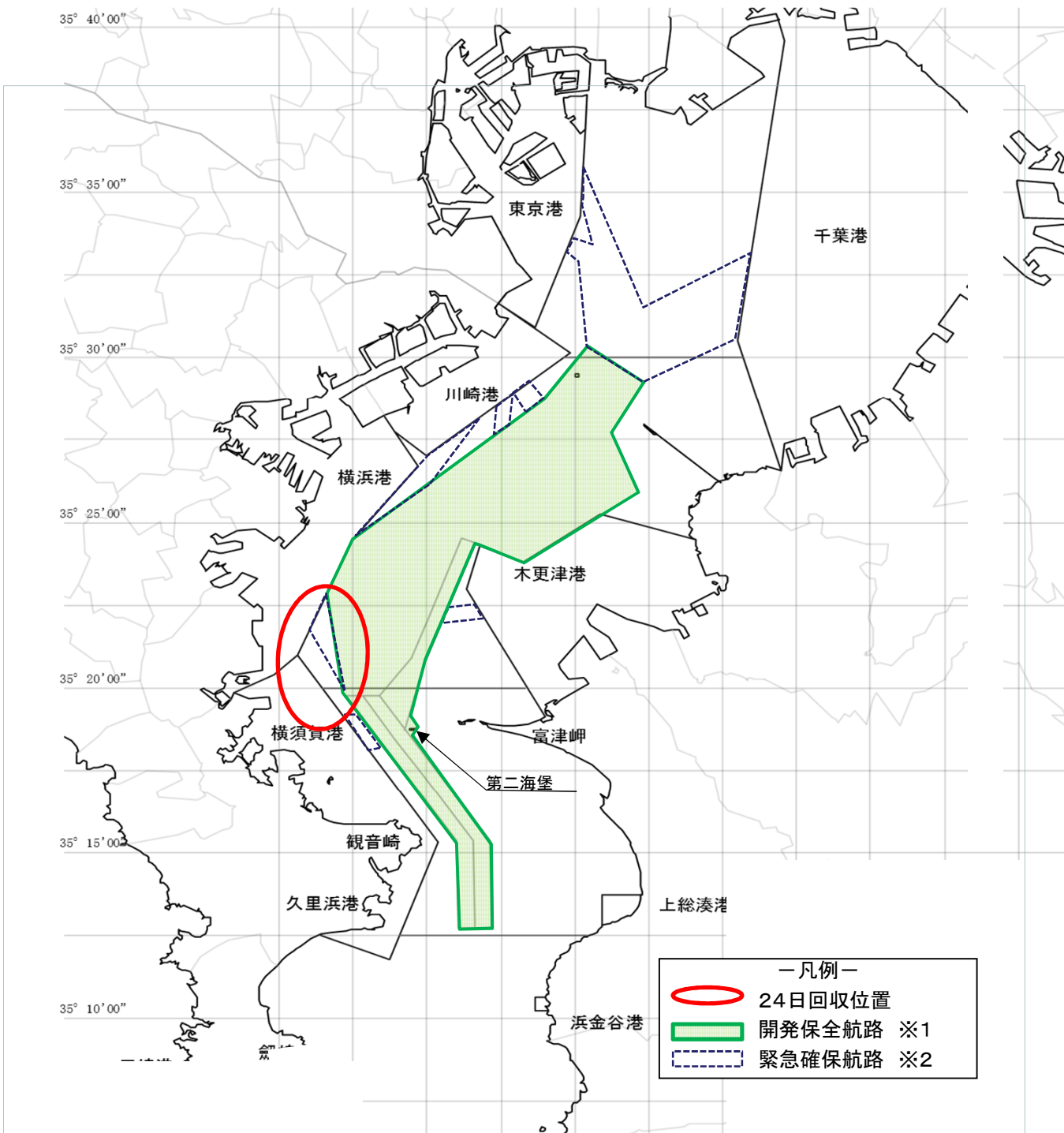
国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所

副所長 蟻川 辰美 (ありかわ たつみ)

海洋環境・防災課長 狭間 松博 (はざま まつひろ)

電話 043-243-9172 FAX 043-243-1939

横浜港沖及び横須賀港沖における「べいくりん」による回収状況



回収実績
種類

流木	φ 0.05~0.48	10 本	1.29 m ³
	× 1.7~5.0		
かや・草等			9.00 m ³
タイヤ	0.70 × 0.2	1 本	0.06 m ³
ドラム缶	0.60 × 0.9	1 本	0.25 m ³
コーン	0.25 × 0.7	7 個	0.21 m ³
箱	0.90 × 1.0 × 0.5	1 個	0.45 m ³
計			11.26 m ³



流木をクレーンで回収



流木をクレーンで回収



回収した流木



回収した箱



スキッパーで回収したドラム缶



回収した浮遊物をコンテナへ格納

清掃兼油回収船「べいくりん」の概要

関東地方整備局 千葉港湾事務所 所属



「べいくりん」
全 長:約32.5m
全 幅:約11.6m
総トン数:約199トン



“べいくりん”の業務

「海洋環境整備事業」の一環として、東京湾の一般海域において「浮遊ゴミの回収」や、東京湾の環境メカニズム解明のために、「水質及び底質の調査」を定期的に行っています。

また、油流出事故や、大地震などの災害が発生した場合には「浮遊油の回収」や「航路の啓開」を実施します。



油回収器



スキッパー



ゴミコンテナ



多関節クレーン

東日本大震災時の活動

震災直後には地震の揺れにより、千葉県市原市の製油所のタンクが破損したことにより流出した油の回収作業に当たりました。

また、海上物流拠点の仙台塩釜港や石巻港周辺海域で約1ヶ月間、がれきの撤去作業を行いました。